

消 防 編

第1章 消防の概要

第1表 福井県常備消防体制(平成27年4月1日現在)

嶺北消防組合

設置年月日	S44.7.24
消防吏員	198人
普通消防車	6台
救急車	8台

永平寺町

設置年月日	H18.2.13
消防吏員	40人
普通消防車	1台
救急車	3台

勝山市

設置年月日	S36.8.1
消防吏員	37人
普通消防車	2台
救急車	3台

福井市

設置年月日	H18.2.1
消防吏員	351人
普通消防車	21台
救急車	10台

大野市

設置年月日	H17.11.7
消防吏員	55人
普通消防車	4台
救急車	4台

鯖江・丹生消防組合

設置年月日	S44.11.1
消防吏員	110人
普通消防車	5台
救急車	6台

南越消防組合

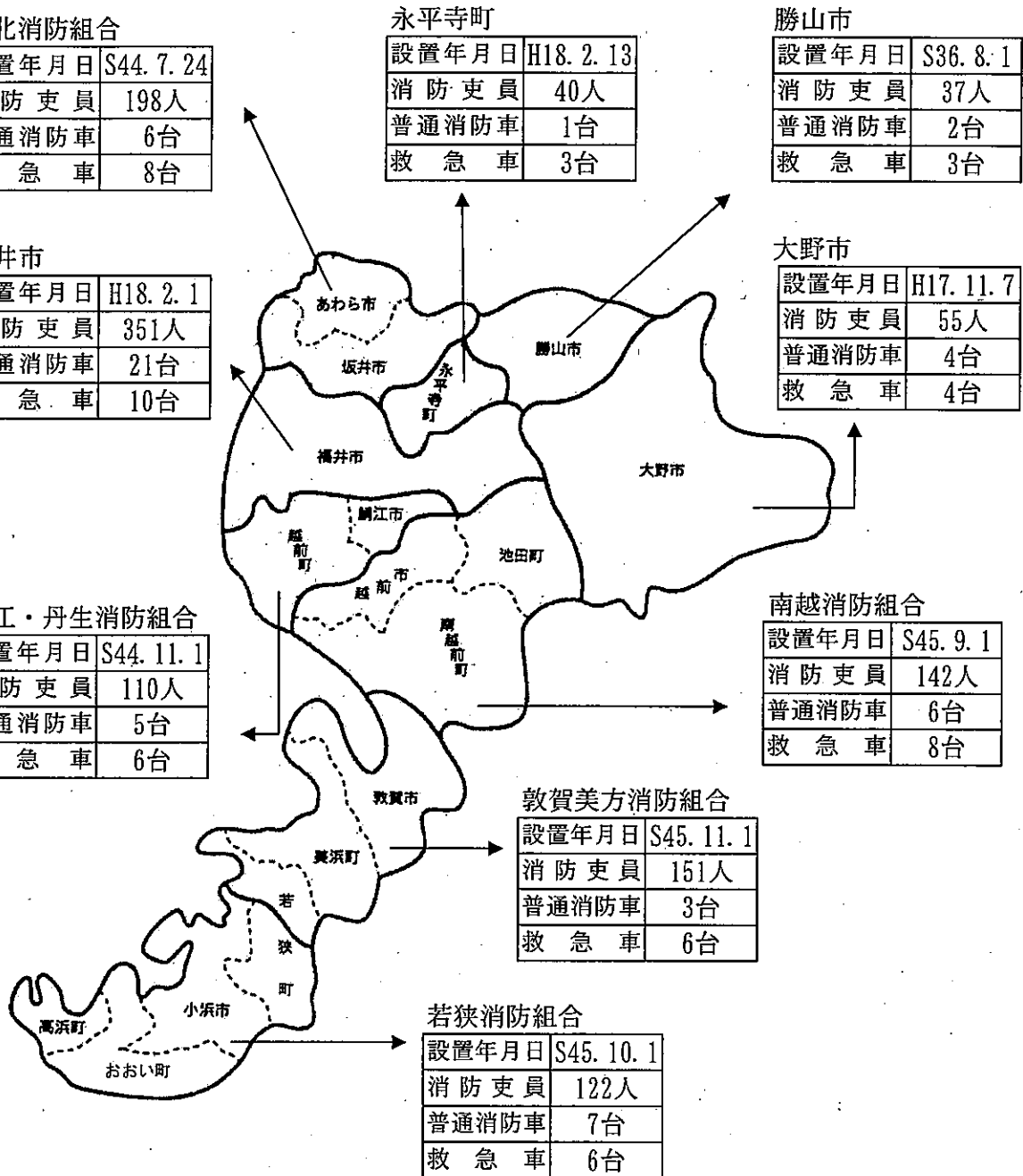
設置年月日	S45.9.1
消防吏員	142人
普通消防車	6台
救急車	8台

敦賀美方消防組合

設置年月日	S45.11.1
消防吏員	151人
普通消防車	3台
救急車	6台

若狭消防組合

設置年月日	S45.10.1
消防吏員	122人
普通消防車	7台
救急車	6台



※普通消防車とは、普通消防ポンプ自動車であり、台数については消防団分を含まない

第2表 消防の概況表

面積（国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」H26. 10. 1現在）		4,190.43 km ²	
平成22年国勢調査（確定値）人口		806,314 人	
推計人口（平成27年4月1日現在）		786,024 人	
推計世帯数（平成27年4月1日現在）		280,117 世帯	
65才以上高齢者数（福井県の推計人口 平成26年10月1日現在）		218,367 人	
高齢化率（ # ）		27.9 %	
地域別人口	福井坂井地区（平成22年国勢調査 確定値）	409,332 人	
	奥越地区	60,757 人	
	丹南地区	190,821 人	
	嶺南地区	145,404 人	
26 年 火 災 状 況	火災件数	213 件	
	うち	建物火災件数	139 件
		林野火災件数	3 件
	建物焼損面積	6066 m ²	
	林野焼損面積	30 a	
	損害額	362,832 千円	
	うち	建物火災	343,458 千円
	死者（自殺者数内数）	8(1) 人	
	負傷者	40 人	
	出火率（人口1万人に対する出火件数）※人口：平成26年3月31日現在	2.65 件	
2活 6動 年 救 急 況	救急出場件数	27,034 件	
	うち	急病	16,320 件
		交通事故	2,723 件
		一般負傷	3,909 件
搬送人員	26,079 人		
消 防 本 部 ・ 署 所	消防本部	単独設置市	3
		単独設置町	1
		消防一部事務組合	5
	消防署数	19	
	出張所数	30	
	消防職員	消防吏員	1,206 人
		その他の職員	33 人
合計		1,239 人	
消 防 団	消防団数	18	
	分団数	235	
	消防団員	非常勤団員数	5,797 人
		常勤団員数	—
合計		5,797 人	

消 防 車 両 等	区 分		消防本部・署所	消 防 団	
	普通消防ポンプ自動車			55 台	139 台
水槽付消防ポンプ自動車			22 台	—	
はしご付消防ポンプ自動車			13 台	—	
屈折はしご付消防ポンプ自動車			1 台	—	
大型高所放水車			1 台	—	
泡原液搬送車			2 台	—	
化学消防自動車			17 台	—	
指揮車			20 台	—	
小型動力ポンプ付積載車			—	194 台	
小型動力ポンプ(車両に積載していないもの)			26 台	106 台	
広報車			28 台	—	
資機材搬送車			26 台	—	
屈折放水塔車			1 台	—	
救急自動車			54 台	—	
救助工作車			15 台	—	
その他の車両			14 台	—	
消 防 水 利	消火栓	公 設		18,119 個	
		私 設		98 個	
	防火水槽	100m ³ 以上		78 基	
		60m ³ 以上 100m ³ 未満		123 基	
		40m ³ 以上 60m ³ 未満		4,785 基	
		20m ³ 以上 40m ³ 未満		514 基	
	井戸	公 設		82 個	
		私 設		—	
そ の 他			594 個		
通 信 施 設 等	消防用無線		基地局および固定局		61 局
			移動局		897 局
	防災行政無線	市町	同報無線	同報親局	22 局
				同報受信設備	26,543 局
		移動無線	基地局	29 局	
			移動局	911 局	
		県	固定系	地上系	30 局
				衛星系	64 局
	移動系	基地局等	24 局		
		移動局等	223 局		
	テレビ監視装置				2 基
	火災報知専用電話				123 回線
消防電話				126 回線	

第2章 火災の実態

1 概況

平成26年中の火災発生件数は213件、死者8人、負傷者40人、損害額3億6,283万円、焼損棟数196棟、り災世帯数101世帯、り災人員291人となっており、一日当たりの損害状況は第1表のとおりで、概ね毎日99万円が灰じんに帰していることになる。

火災発生件数、損害額および死傷者数の過去10年間の推移は、第1図、第2図のとおりであり、火災発生件数においては、平成17年中が最も多く、平成23年中が最も少ない。

2 出火件数および損害額の状況

(1) 出火件数

総出火件数は213件で、これを火災種別ごとにみると、第3図のように建物火災が139件で全体の65.3%を占め、車両火災27件(12.7%)、林野火災3件(1.4%)、船舶火災1件(0.4%)、その他火災43件(20.2%)となっている。

また、建物火災だけでみると、第4図のように一般住宅が52件(37.4%)で最も多く、次いで工場16件(11.5%)、特定複合用途12件(8.6%)、共同住宅8件(5.8%)、倉庫8件(5.8%)、飲食店7件(5.0%)、事務所7件(5.0%)、その他29件(20.9%)となっている。

第3表の月別火災発生状況表を見ると、3月の発生件数が27件で最も多く、2月が11件と最も少ない。

第4表では、市町別の火災発生状況を示している。

(2) 損害額

損害額は、3億6,283万円で、これを火災種別ごとにみると、第5図のように建物火災が3億4,346万円で全体の94.7%を占め、次いで車両火災1,372万円(3.8%)となっている。火災1件当たりの損害額は170万円となる。

第3表の月別火災発生状況表をみると、12月の損害額が5,411万円で最も多く、10月が344万円で最も少ない。

3 出火原因

全火災の出火原因別状況を表したのが第6図であり、出火原因別損害状況を表したのが第6表である。

第6図をみると、出火原因ではたばこが最も多く20件で9.4%を占め、次いで、こんろ17件(8.0%)、たき火16件(7.5%)、放火11件(5.2%)、電気機器10件(4.7%)、火入れ10件(4.7%)、電灯電話等の配線7件(3.3%)などとなっている。

4 火災による死者の状況

死者の死因別発生状況を表したのが第7表であり、死者の経過別、年齢別発生状況を表したのが第8表である。

第7表をみると、死因では、一酸化炭素中毒が1人、火傷が5人、自殺が1人、不明1人となっている。

また、平成26年中の死者に占める高齢者は6人で全体の75%となった。

第1表 1日当たりの損害状況

区 分	単位	平成26年 (A)	平成25年 (B)	対前年増加数 (A) - (B)
出 火 件 数	件	0.58	0.62	△0.04
損 害 額	万円	99	133	△34
焼 損 棟 数	棟	0.54	0.47	0.07
り 災 世 帯 数	世帯	0.28	0.23	0.05
り 災 人 員	人	0.80	0.64	0.16

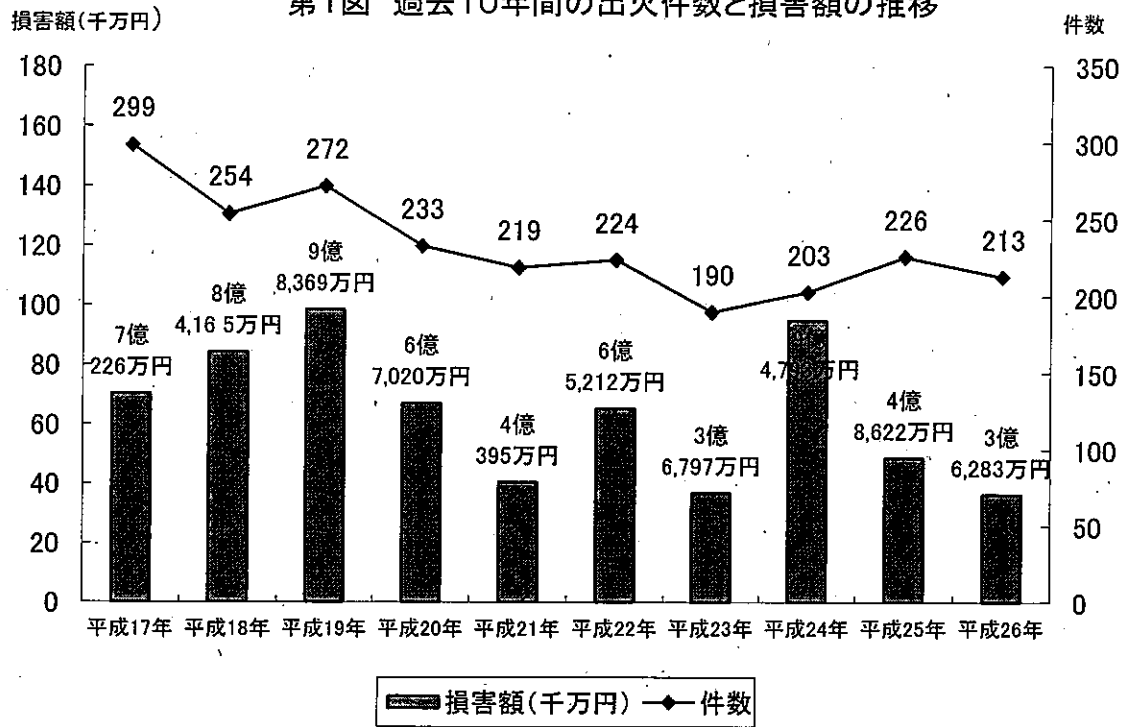
第2表 平成26年火災発生状況と前年比較表

区 分	平成26年(A)	平成25年(B)	対前年増加数 (A) - (B) = (C)
総 出 火 件 数	213	226	△ 13
建 物	139	132	7
林 野	3	7	△ 4
車 両	27	29	△ 2
船 舶	1	0	1
そ の 他	43	58	△ 15
焼 損 棟 数 (棟)	196	170	26
全 焼	39	45	△ 6
半 焼	15	11	4
部 分 焼	59	47	12
ぼ や	83	67	16
り 災 世 帯 数 (世 帯)	101	85	16
全 損	24	14	10
半 損	4	5	△ 1
小 損	73	66	7
り 災 人 員 (人)	291	234	57
建 物 焼 損 面 積 (㎡)	6,066	6,250	△ 184
林 野 焼 損 面 積 (a)	30	44	△ 14
損 害 額 合 計 (千 円)	362,832	486,221	△ 123,389
建 物	343,458	424,012	△ 80,554
林 野	54	130	△ 76
車 両	13,721	12,803	918
船 舶	120	0	120
そ の 他	2,609	49,275	△ 46,666
爆 発	2,870	1	2,869
死 者 (人)	8	11	△ 3
() は 放 火 自 殺 者 内 数	(1)	(2)	(△ 1)
建 物	6 (0)	8 (1)	△ 2 (△ 1)
林 野	0	1	△ 1
車 両	1 (0)	0 (0)	1 0
船 舶	0	0	0
そ の 他	1 (1)	2 (1)	△ 1 (1)
負 傷 者 (人)	40	32	8
建 物	35	27	8
林 野	0	0	0
車 両	3	0	3
船 舶	0	0	0
そ の 他	2	5	△ 3
出 火 率 (人口1万人に対する出火件数)	2.64	2.79	

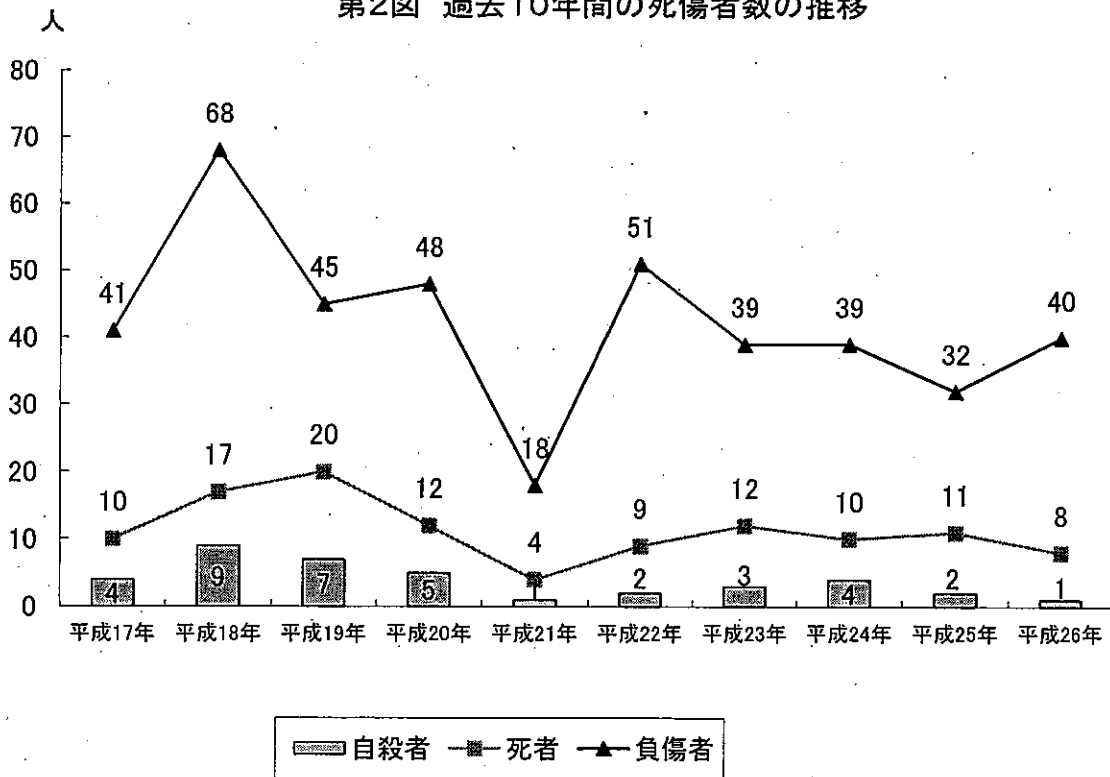
平成26年人口:平成26年度消防防災・震災対策現況調査による(平成26年3月31日現在)。

平成25年人口:平成25年度消防防災・震災対策現況調査による(平成25年3月31日現在)。

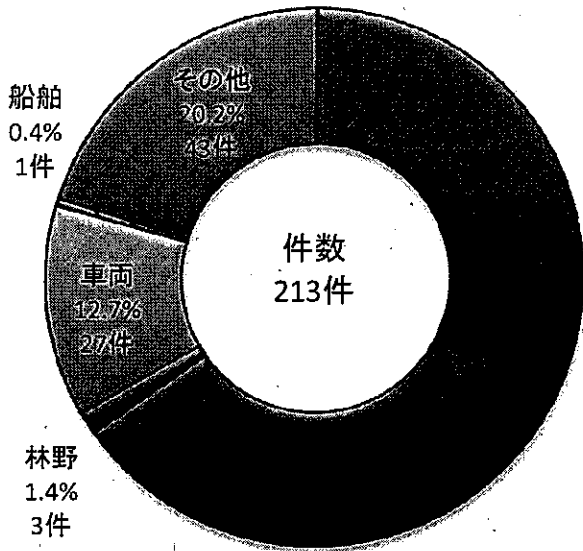
第1図 過去10年間の出火件数と損害額の推移



第2図 過去10年間の死傷者数の推移

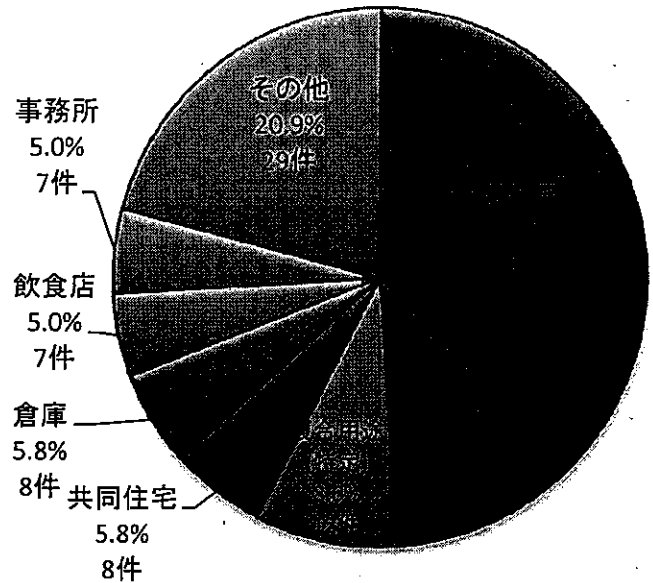


第3図 火災発生件数の内訳



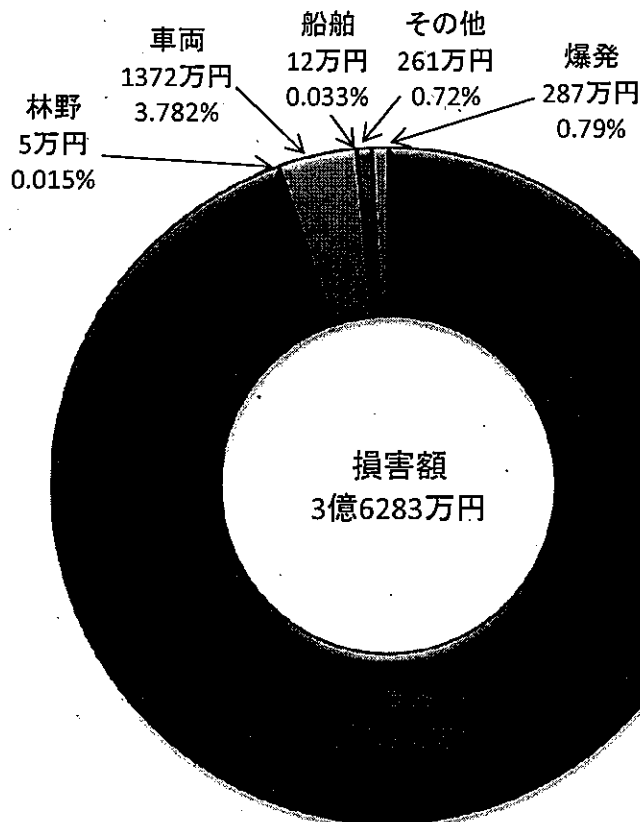
■建物 ■林野 ■車両 ■船舶 ■その他

第4図 うち建物火災件数の内訳



■一般住宅
■複合用途(特定)
■倉庫
■事務所等
■工場
■共同住宅
■飲食店
■その他

第5図 損害額の内訳



■建物 ■林野 ■車両 ■船舶 ■その他 ■爆発

第3表 平成26年月別火災発生状況表

月	出火件数(件)						焼損棟数(棟)				焼損面積			り災世帯数(世帯)			り災人員(人)	死(人)	負傷者(人)	損害額(千円)							
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	合計	全焼	半焼	部分焼	建物	林野(a)	合計	全	半	小				合計	建物	林野	車両	船舶	その他	爆発	
1	14	10	0	2	0	2	12	2	1	3	6	335	0	6	1	0	5	14	1	3	28,382	27,863	0	253	0	266	0
2	11	7	0	1	0	3	7	1	1	4	65	0	1	0	0	1	2	0	0	3	3,684	3,274	0	250	0	160	0
3	27	19	0	3	0	5	24	2	2	5	15	326	0	11	2	0	9	39	1	8	27,475	25,660	0	1,812	0	3	0
4	19	8	1	0	0	10	17	5	1	6	5	556	2	8	3	1	4	19	2	2	25,513	25,459	54	0	0	0	0
5	18	10	1	4	0	3	10	1	0	3	6	198	27	6	0	0	6	18	0	2	20,564	16,893	0	786	0	15	2,870
6	15	7	0	1	1	6	9	2	1	5	420	0	3	1	0	2	10	0	2	17,638	17,139	0	218	120	161	0	
7	15	8	0	4	0	3	17	6	1	6	4	690	0	15	5	0	10	37	0	2	42,759	42,141	0	618	0	0	0
8	21	15	0	3	0	3	21	5	2	6	8	490	0	6	2	0	4	20	0	6	32,058	28,640	0	3,257	0	161	0
9	22	17	0	3	0	2	22	6	2	3	11	912	0	10	2	1	7	33	1	1	53,462	47,124	0	5,575	0	763	0
10	12	7	0	2	0	3	7	1	0	2	4	43	0	3	0	3	8	0	2	3,438	1,722	0	652	0	1,064	0	
11	19	17	1	1	0	0	29	3	1	18	7	994	1	19	3	0	16	64	1	7	53,748	53,558	0	190	0	0	0
12	20	14	0	3	0	3	21	5	3	5	8	1,037	0	13	5	2	6	27	2	2	54,111	53,985	0	110	0	16	0
計	213	139	3	27	1	43	196	39	15	59	83	6,066	30	101	24	4	73	291	8	40	362,832	343,458	54	13,721	120	2,609	2,870

第4表 市町別火災状況

区分	出火件数(件)							焼損棟数(棟)					り災世帯数(世帯)			り災人員(人)	
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損		小損
福井市	63	45	0	10	0	0	8	65	10	3	18	34	31	7	1	23	92
敦賀市	25	13	0	7	1	0	4	13	2	0	2	9	12	1	0	11	31
小浜市	10	7	0	0	0	0	3	12	3	2	4	3	12	2	1	9	35
大野市	7	6	1	0	0	0	0	8	2	1	2	3	5	3	0	2	18
勝山市	8	6	1	1	0	0	0	5	0	0	1	4	2	0	0	2	7
鯖江市	21	19	0	1	0	0	1	34	8	2	17	7	16	5	1	10	49
あわら市	9	4	0	1	0	0	4	6	1	1	2	2	2	1	0	1	3
越前市	18	10	0	3	0	0	5	15	4	1	6	4	6	1	0	5	9
坂井市	18	13	0	0	0	0	5	18	2	3	1	12	11	2	1	8	31
市計	179	123	2	23	1	0	30	176	32	13	53	78	97	22	4	71	275
永平寺町	7	5	0	2	0	0	0	6	2	0	1	3	1	1	0	0	4
池田町	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南越前町	3	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
越前町	5	4	0	1	0	0	0	4	1	1	2	0	1	0	0	1	2
美浜町	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高浜町	5	4	0	0	0	0	1	7	4	0	2	1	1	0	0	1	2
おおい町	5	1	0	0	0	0	4	1	0	1	0	0	1	1	0	0	8
若狭町	7	1	0	0	0	0	6	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
(内訳)																	
旧三方町 敦賀美方消防管轄	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旧上中町 若狭消防管轄	6	1	0	0	0	0	5	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
町計	34	16	1	4	0	0	13	20	7	2	6	5	4	2	0	2	16
県計	213	139	3	27	1	0	43	196	39	15	59	83	101	24	4	73	291

若狭町は、旧三方町と旧若狭町では消防の管轄が異なるため、内訳を記載した。

期間:平成26年1月1日～12月31日

死傷者数(人)		焼 損 面 積			損 害 額(千円)						
死 者	負 傷 者	建 物 床 (m ²)	建 物 表 (m ²)	林 野 (a)	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	爆 発
2	12	1,642	128	0	101,853	100,214	0	1,193	0	446	0
2	3	619	2	0	10,874	5,843	0	4,895	120	16	0
0	5	368	200	0	33,000	32,985	0	0	0	15	0
1	1	603	7	2	9,464	9,410	54	0	0	0	0
0	2	12	0	27	4,202	1,132	0	200	0	0	2,870
2	3	981	118	0	74,342	72,556	0	760	0	1,026	0
1	0	315	4	0	28,577	28,099	0	478	0	0	0
0	3	287	61	0	11,380	9,753	0	1,415	0	212	0
0	3	517	2	0	44,004	43,028	0	402	0	574	0
8	32	5,344	522	29	317,696	303,020	54	9,343	120	2,289	2,870
0	0	420	4	0	27,033	23,144	0	3,889	0	0	0
0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	3	0	0	0	527	120	0	407	0	0	0
0	2	122	0	0	8,851	8,794	0	57	0	0	0
0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
0	2	112	0	0	2,491	2,146	0	25	0	320	0
0	0	53	0	0	3,436	3,436	0	0	0	0	0
0	0	15	0	0	2,798	2,798	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	15	0	0	2,798	2,798	0	0	0	0	0
0	8	722	4	1	45,136	40,438	0	4,378	0	320	0
8	40	6,066	526	30	362,832	343,458	54	13,721	120	2,609	2,870

第5表 市町別月別火災発生件数、損害額および出火率

区 分	総計		1月		2月		3月		4月		5月		6月	
	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)
福井市	63	101,853	6	523	3	665	14	24,550	3	2,678	7	16,829	1	9,442
敦賀市	25	10,874	0	0	2	250	2	276	1	42	2	96	4	4,483
小浜市	10	33,000	1	11	1	0	2	0	1	37	1	15	0	0
大野市	7	9,464	0	0	1	0	0	0	2	1,432	0	0	0	0
勝山市	8	4,202	0	0	0	0	1	0	0	0	3	3,070	0	0
鯖江市	21	74,342	2	426	0	0	3	716	2	21,094	1	19	1	0
あわら市	9	28,577	1	25,314	1	2,356	0	0	1	0	1	478	1	0
越前市	18	11,380	0	0	1	27	3	1,520	4	230	0	0	1	4
坂井市	18	44,004	1	629	0	0	0	0	1	0	0	0	3	273
市 計	179	317,696	11	26,903	9	3,298	25	27,062	15	25,513	15	20,507	11	14,202
永平寺町	7	27,033	2	293	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
池田町	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南越前町	3	527	0	0	0	0	1	407	0	0	0	0	1	0
越前町	5	8,851	0	0	0	0	0	0	0	0	1	57	0	0
美浜町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高浜町	5	2,491	1	1,186	1	386	1	6	0	0	1	0	0	0
おおい町	5	3,436	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	3,436
若狭町	7	2,798	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0
(内訳)														
旧三方町 敦賀美方消防管轄	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
旧上中町 若狭消防管轄	6	2,798	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0
町 計	34	45,136	3	1,479	2	386	2	413	4	0	3	57	4	3,436
県 計	213	362,832	14	28,382	11	3,684	27	27,475	19	25,513	18	20,564	15	17,638

若狭町は、旧三方町と旧若狭町では消防の管轄が異なるため、内訳を記載した。

出火率(人口1万人に対する出火件数)は、平成26年3月31日現在の住民基本台帳人口により算定

期間:平成26年1月1日～12月31日

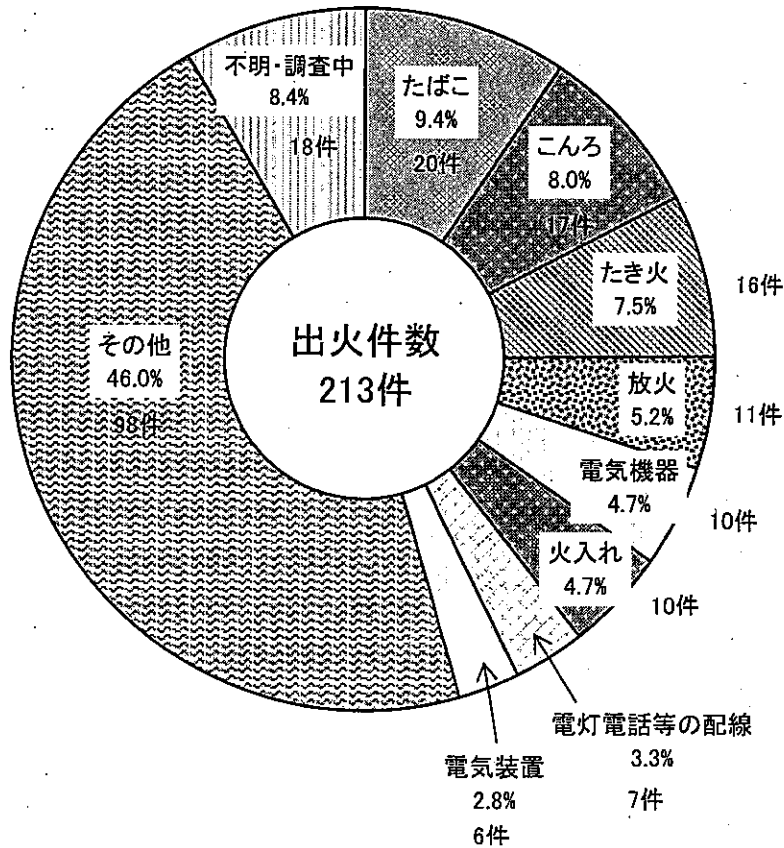
7月		8月		9月		10月		11月		12月		出火率 (人口 1万人に 対する 出火件数)
件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	
5	13,521	6	4,885	3	148	4	1,189	3	11,701	8	15,722	2.35
3	240	4	3,233	2	941	2	40	1	906	2	367	3.68
1	5,115	1	21,320	2	6,502	0	0	0	0	0	0	3.21
0	0	0	0	1	270	0	0	2	7,671	1	91	1.97
0	0	0	0	3	953	0	0	0	0	1	179	3.13
1	22,284	1	745	1	1	3	1,725	4	24,105	2	3,227	3.05
1	0	1	0	1	61	0	0	0	0	1	368	3.05
2	500	3	947	1	2,377	2	483	0	0	1	5,292	2.15
0	0	4	15	2	13,160	1	1	3	1,061	3	28,865	1.92
13	41,660	20	31,145	16	24,413	12	3,438	13	45,444	19	54,111	2.54
1	290	0	0	3	26,420	0	0	1	30	0	0	3.60
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.27
0	0	0	0	0	0	0	0	1	120	0	0	2.59
1	809	0	0	1	2,629	0	0	2	5,356	0	0	2.15
0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0.98
0	0	1	913	0	0	0	0	0	0	0	0	4.55
0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5.76
0	0	0	0	1	0	0	0	1	2,798	1	0	4.38
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	1	0	0	0	1	2,798	1	0	
2	1,099	1	913	6	29,049	0	0	6	8,304	1	0	3.30
15	42,759	21	32,058	22	53,462	12	3,438	19	53,748	20	54,111	2.64

第6表 全火災の出火原因別損害状況表

期間:平成26年1月1日～12月31日

出火原因	出火件数(件)	焼損床面積(m ²)	焼損棟数(棟)	り災世帯数(世帯)	損害額(千円)
たばこ	20	646	21	13	20,755
こんろ	17	45	17	11	3,452
たき火	16	37	2	0	807
放火	11	0	5	4	596
電気機器	10	223	12	9	10,544
火入れ	10	0	0	0	21
電灯電話等の配線	7	834	17	8	47,829
電気装置	6	0	4	0	540
その他	98	3,065	96	44	210,545
不明・調査中	18	1,216	22	12	67,743
合計	213	6,066	196	101	362,832

第6図 全火災の出火原因別状況



第7表 死者の死因別発生状況表

火災種別 \ 死因	一酸化炭素 中毒・窒息	火傷	打撲・骨折 等	自殺	その他	不明	合計(人)
建物火災	1	4	0	0	0	1	6
林野火災	0	0	0	0	0	0	0
車両火災	0	1	0	0	0	0	1
その他火災	0	0	0	1	0	0	1
合計(人)	1	5	0	1	0	1	8

第8表 死者の経過別・年齢別発生状況表

経過別 \ 年齢別(歳)	0~ 5	6~ 10	11 ~ 20	21 ~ 30	31 ~ 40	41 ~ 50	51 ~ 60	61 ~ 64	65 ~ 70	71 ~ 80	81~	不明	合計 (人)
熟睡等により発見遅れる											1		1
病気・身体不自由によりほとんど避難できず											1		1
身体不自由のため逃げ切れず											1		1
採暖中(除くたき火)に着衣着火										1			1
放火自殺						1							1
その他									1				1
不明・調査中							1				1		2
合計(人)	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	4	0	8

第3章 救急業務の実態

1 救急体制

災害により生じた事故もしくは屋外および公衆の出入りする場所、または屋内において生じた事故で、迅速に搬送する手段がない場合に傷病者を医療機関等へ搬送する業務が救急業務であるが、平成27年4月1日現在、第1表のとおり、救急自動車55台(うち高規格救急自動車54台)、救急隊員527名(うち救急救命士193名)で救急業務にあっている。

2 救急医療体制

救急隊が搬送する傷病者を受け入れる救急告示医療機関数は、平成27年4月1日現在、第2表のとおり55施設である。

3 救急活動状況

救急活動状況を表したのが第3表であり、救急出場件数は27,034件、搬送人員は26,079人となっている。県内1日あたりの出場件数は約74件となり、約20分に1回の割合で救急隊が出場したことになる。

過去10年間の出場件数および搬送人員の推移を表したのが第1図であり、出場件数、搬送人員ともにほぼ毎年増加している。

出場件数、搬送人員の事故種別内訳を表したのが第2図、第3図であり、出場件数の事故種別内訳では、急病が16,320件で、全体の60.4%を占め、次いで一般負傷3,909件(14.5%)、交通事故2,723件(10.0%)などとなっている。搬送人員では急病が15,473人で全体の59.3%を占め、次いで一般負傷3,772人(14.5%)、交通事故3,135人(12.0%)などとなっている。

第1表 救急体制状況表

平成27年4月1日現在

消防(局)本部名	救急自動車			救急隊員					
	高規格救急車	通常型	合計	専任		兼任		合計	
				救急救命士	救急救命士	救急救命士	救急救命士		
福井市	10	0	10	48	23	28	11	76	34
大野市	4	0	4			41	15	41	15
勝山市	3	0	3			26	8	26	8
永平寺町	3	0	3			36	9	36	9
嶺北消防組合	9	0	9			86	30	86	30
鯖江・丹生消防組合	6	0	6			104	27	104	27
南越消防組合	7	1	8	4	4	61	21	65	25
敦賀美方消防組合	6	0	6	37	21	8		45	21
若狭消防組合	6	0	6	6	5	42	19	48	24
合計	54	1	55	95	53	432	140	527	193

第2表 医療機関状況表

平成27年4月1日現在

種別	国・公立	公的	私的		合計
			病院	診療所	
告示別					
救急告示医療機関	7	4	27	17	55
その他の医療機関	16	7	30	399	452
合計	23	11	57	416	507

第3表 救急活動状況

(平成26年中)

	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自行損傷	急病	その他
救急出場件数	27,034	102	0	37	2,723	267	213	3,909	77	251	16,320	3,135
搬送人員	26,079	30	0	20	3,135	263	218	3,772	68	150	15,473	2,950

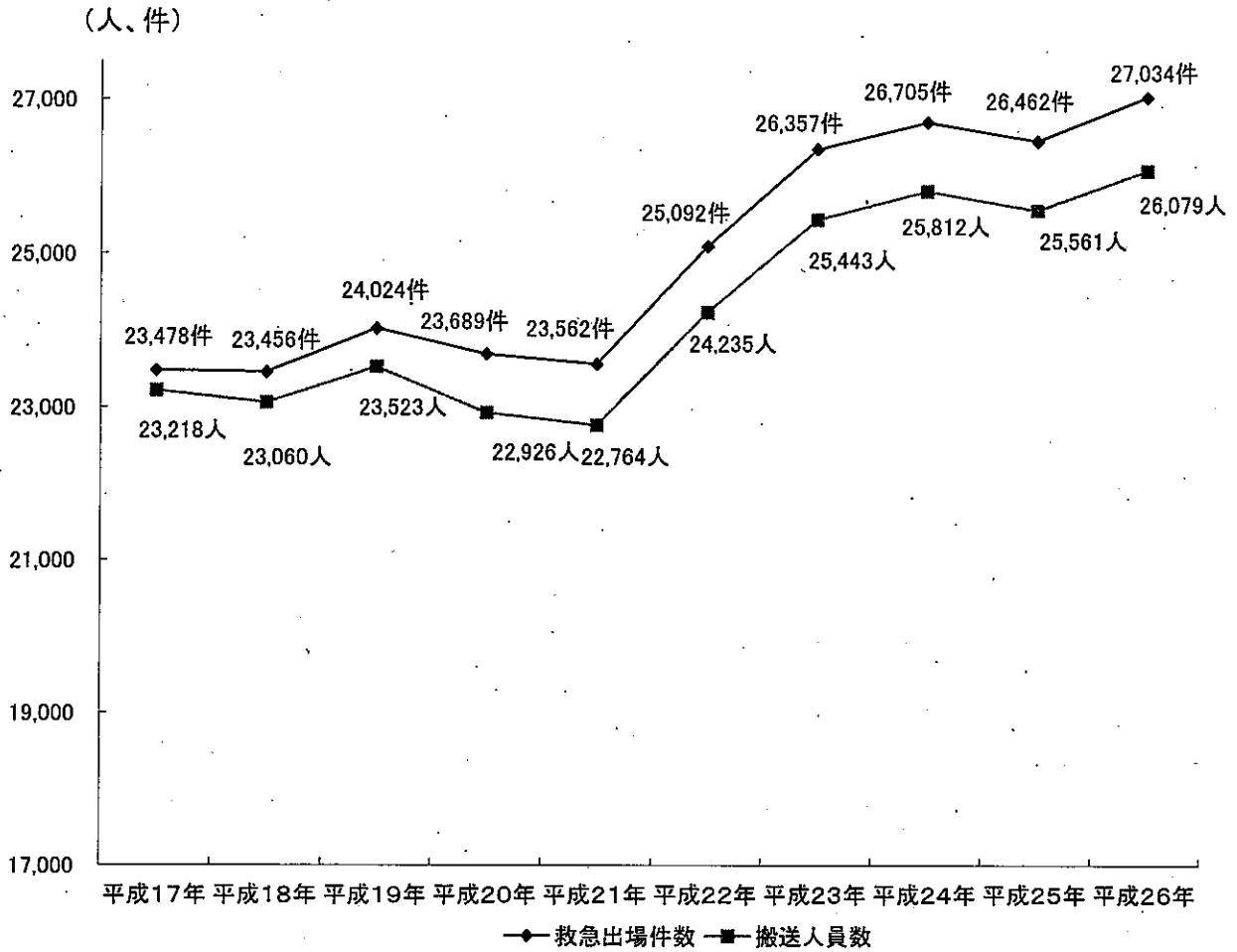
第4表 高速自動車道における救急活動状況表

(平成26年中)

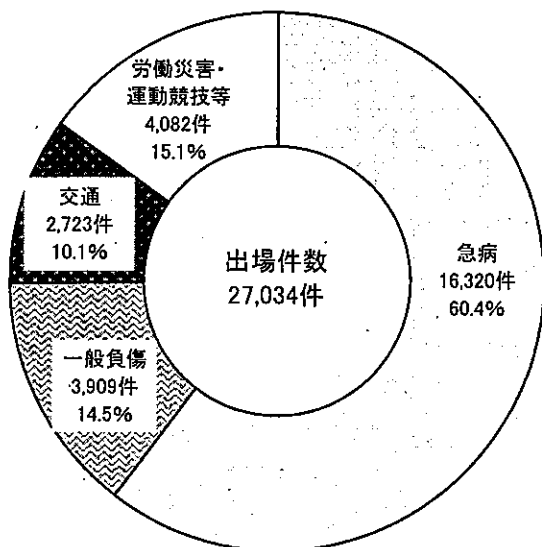
高速道路名	北陸自動車道									小計
	嶺北消防組合消防本部		福井市消防局		鯖江・丹生消防組合消防本部		南越消防組合消防本部		敦賀美方消防組合消防本部	
I C 名	金津	丸岡	福井北	福井	鯖江	武生	今庄	敦賀		
救急出動数	6	16	1	4	10	9	33	24		103
搬送人員	6	21	1	6	10	6	44	20		114

高速道路名	舞鶴若狭自動車道								小計	計
	敦賀美方消防組合消防本部			若狭消防組合消防本部						
I C 名	若狭美浜	若狭三方	若狭上中	大飯高浜	小浜西	小浜	若狭上中			
救急出動数	0	2	0	3	1	4	0	10	113	
搬送人員	0	0	0	3	3	3	0	9	123	

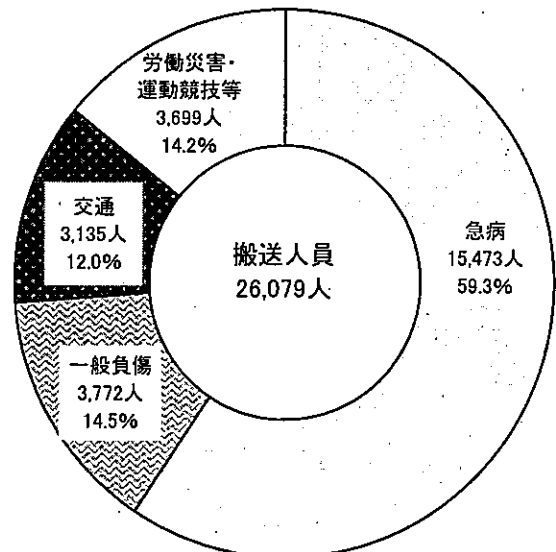
第1図 過去10年間の救急活動の推移



第2図 出場件数の事故種別内訳



第3図 搬送人員の事故種別内訳



第4章 予 防 行 政 の 概 況

1 防火対象物定期点検報告制度

不特定多数の人が出入りするなど一定の防火対象物について、所有者や賃借人等のうち管理について権原を有する人が、火災予防のために資格者による定期点検を行い、その結果を消防機関へ報告する制度である。

この制度による平成26年4月1日から平成27年3月31日までの状況は第1表のとおりである。

第1表 防火対象物定期点検報告制度実施状況表

防火対象物の区分			点検を要する 防火対象物数		点検報告済 防火対象物数		特例認定済 防火対象物数	
			第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当
1	イ	劇場、映画館、演芸場または観覧場	32		14		10	
	ロ	公会堂または集会場	219		123		60	
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの						
	ロ	遊技場またはダンスホール	59		26		5	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
	ニ	カラオケボックス等	2					
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	1	9	1	3		
	ロ	飲食店	11	44	6	13	1	
4		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗または展示場	181	20	95	4	15	1
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	43	83	20	27	19	24
6	イ	病院、診療所または助産所	36	7	16	2	9	5
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、精神障害者社会復帰施設等	5	4	1	2	2	
	ハ	老人デイサービスセンター、老人福祉センター、精神障害者社会復帰施設（軽微）等	2	2		2	1	
	ニ	幼稚園または特別支援学校	1		1			
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類する公衆浴場	3				2	
16	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が上記に該当する用途に供されているもの	202	43	112	12	41	1
16の2		地下街						
合 計			797	212	415	65	165	31

【備考】

- ・点検報告済防火対象物とは、1年に1回、防火対象物点検資格者による点検報告が必要なもので、点検の結果、点検基準に適合していると認められた防火対象物。「防火基準点検済証」を表示することができる。
- ・特例認定済防火対象物とは、一定の要件を満たしているもので、申請によって点検報告の義務が3年間免除される防火対象物。「防火優良認定証」を表示することができる。
- ・第1号該当とは、収容人員が300人以上の防火対象物
- ・第2号該当とは、収容人員が30人以上300人未満の防火対象物で次の要件に該当する防火対象物
 - 特定用途部分が地階または3階以上に存するもの（避難階は除く）
 - 階段が2以上設けられていないもの
- ・調査基準日…平成27年3月31日
- ・調査期間…平成26年4月1日～平成27年3月31日

2 消防設備士試験・講習の状況

消防設備士は、甲種・乙種合わせて823人の受験者に対して380人が合格し、合格率は

46.2%であった。その状況は第2表のとおりである。

また、免状所有者に対する義務講習は593人が受講した。その状況は第3表のとおりである。

第2表 消防設備士試験実施状況表

試験日：平成26年8月24日（日）

平成27年2月15日（日）

区 分	平成26年度								免状交付延べ数	
	受験者数（人）		合格人数（人）		合格率（%）		免状交付数			
	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種
特 類	4		1		25.0%		1		16	
第 1 類	96	24	26	12	27.1%	50.0%	28	9	1,173	306
第 2 類	19	6	10	2	52.6%	33.3%	13	4	331	92
第 3 類	34	6	12	1	35.3%	16.7%	10	1	235	60
第 4 類	155	118	56	46	36.1%	39.0%	55	40	2,306	981
第 5 類	34	8	9	4	26.5%	50.0%	10	2	269	103
第 6 類		143		74		51.7%		71		1,952
第 7 類		176		127		72.2%		107		2,890
計	342	481	114	266	33.3%	55.3%	117	234	4,330	6,384

第3表 消防設備士法定講習実施状況表

区 分	受 講 対 象 者 区 分	受 講 者 数 (人)	実 施 年 月 日
消 火 設 備	(甲・乙)第1類,第2類,第3類 消防設備士	123	平成26年7月23日(水)
避難設備・消火器	(甲・乙)第5類,(乙)第6類 消防設備士	140	平成26年7月24日(木)
警 報 設 備	(甲・乙)第4類,(乙)第7類 消防設備士	330	平成26年8月6日(水) 平成26年8月7日(木)
合 計		593	

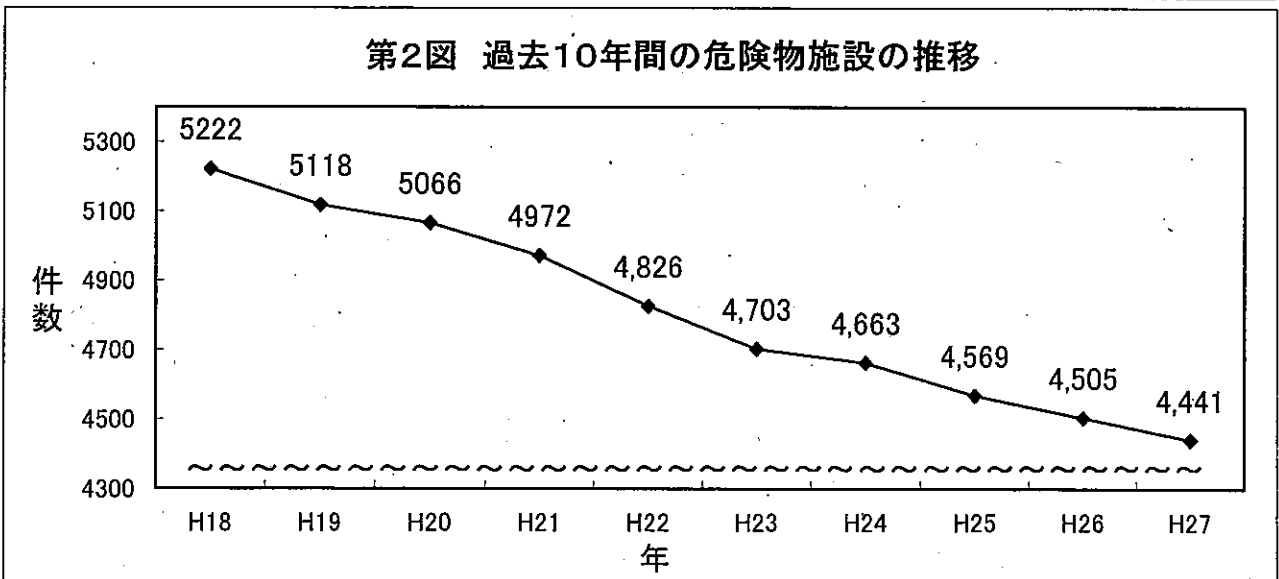
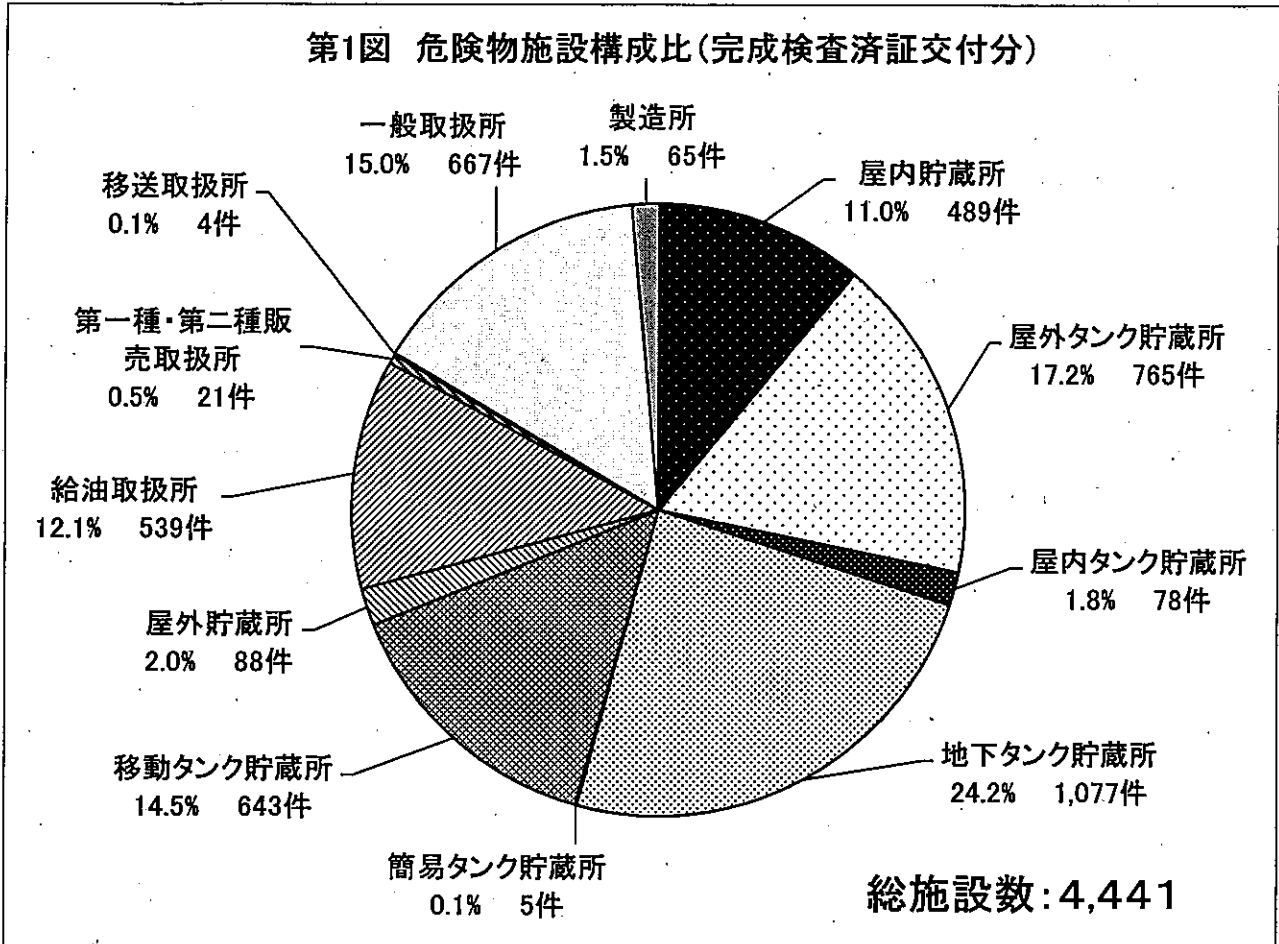
第5章 危険物規制

1 概況

(1) 危険物規制は、福井市、大野市、勝山市および永平寺町においては当該市町が、またその他の市町においてはそれぞれの加入する消防組合において行なわれている。

なお、県内の総施設数は第1図のとおりである。(平成27年3月31日現在)

(2) 危険物の総施設数の推移は第2図のとおり減少傾向であり、前年に対し64件減少している。



第1表 施設別危険物施設数

平成27年3月31日現在

危険物施設の別 消防(局)本部名	製 造 所 (A)	貯 蔵 所									取 扱 所					合 計 (A+B+C)	事 業 所		
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タンク 貯蔵所	準 特 定 屋 外 タンク 貯蔵所	特 定 屋 外 タンク 貯蔵所	屋 内 タンク 貯蔵所	地 下 タンク 貯蔵所	簡 易 タンク 貯蔵所	移 動 タンク 貯蔵所	屋 外 貯 蔵 所	小 計 (B)	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所			一 般 取 扱 所	小 計 (C)
福 井 市	19	116	192	5	20	28	283	1	189	20	829	139	11	1	1	143	295	1,143	580
大 野 市		8	18				58		36		120	25				27	52	172	96
勝 山 市	2	5	31			1	52		20	3	112	17				20	37	151	85
永 平 寺 町		8	6			2	24		13		53	8				12	20	73	46
嶺北消防組合	25	99	177	4	36	12	197	1	126	20	632	93			2	177	272	929	336
鯖江・丹生消防組合	5	62	75			7	125		45	9	323	47	4	4		60	115	443	299
南越消防組合	13	72	115			11	130	2	76	17	423	67				73	140	576	269
敦賀美方消防組合	1	66	107	7	8	12	128		81	16	410	93			1	95	189	600	229
若狭消防組合		53	44			5	80	1	57	3	243	50	1			60	111	354	157
合 計	65	489	765	16	64	78	1,077	5	643	88	3,145	539	16	5	4	667	1,231	4,441	2,097

- 注：1 貯蔵所および取扱所の区分は危険物の規制に関する政令の区分による（以下の表においても同様）。
 2 本表には、設置を許可した施設のうち、完成検査済証を交付した施設数から廃止届を受理した施設数を除いた数を記載（以下の表においても同様）。
 3 準特定屋外タンク貯蔵所には、屋外タンク貯蔵所のうち、貯蔵し、または取り扱う液体の危険物の最大数量が五百キロリットル以上千キロリットル未満のものを記載（以下の表においても同様）。
 4 特定屋外タンク貯蔵所数は、屋外タンク貯蔵所のうち、貯蔵し、または取り扱う液体の危険物の最大数量が千キロリットル以上のものを記載（以下の表においても同様）。
 5 事業所数は、危険物施設を有する事業所の数を記載。

第2表 指定数量別・類別危険物施設数

平成27年3月31日現在

危険物施設の別 数量別・類別	製造所 (A)	貯蔵所										取扱所					合計 (A+B+C)		
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	準特定屋外タンク貯蔵所	特定屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計(B)	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所		小計(C)	
5倍以下	5	215	140			55	598	5	457	24	1,494	41	12			303	356	1,855	
5倍を超えて10倍以下	5	124	124			19	251		18	34	570	56	2			153	211	786	
10 " 50 "	30	89	256			4	177		36	26	588	134	2	5		133	274	892	
50 " 100 "	10	19	79				31		122	3	254	76				32	108	372	
100 " 150 "	4	24	38				12		9		83	59				17	76	163	
150 " 200 "		7	7	1			2			1	17	63				10	73	90	
200 " 1,000 "	11	9	55	11	3		6		1		71	107				12	119	201	
1,000 " 5,000 "		2	23	4	19						25	3				3	6	31	
5,000 " 10,000 "			4		3						4					2	2	6	
10,000倍を超えるもの			39		39						39				4	2	6	45	
合計	65	489	765	16	64	78	1,077	5	643	88	3,145	539	16	5	4	667	1,231	4,441	
単独	第1類		11								11							11	
	第2類	1	5								5					2	2	8	
	第3類		2								2					4	4	6	
	第4類	48	424	761	16	64	78	1,077	5	643	87	3,075	539	16	5	4	640	1,204	4,327
	第5類		21	2							23								23
	第6類			2							2								2
混在	16	26								1	27					21	21	64	
合計	65	489	765	16	64	78	1,077	5	643	88	3,145	539	16	5	4	667	1,231	4,441	

注：1 数量別の欄は、危険物施設で貯蔵または取り扱う危険物の最大数量（許可数量）を指定数量の倍数によって表したものである。
 2 類別の欄の単独には、類を同じくする危険物のみを貯蔵または取り扱っている危険物施設の数を、混在には、類を異にする危険物を貯蔵または取り扱っている危険物施設の数を記載。

第3表 危険物施設に対する立入検査状況

平成26年4月1日から
平成27年3月31日まで

危険物施設の別 消防(局)本部名	製造所 (A)	貯蔵所								取扱所					合計 (A+B+C)		
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計(B)	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所		小計(C)	
福井市	検査施設数	13	64	89	17	167	1	181	7	526	123	1		1	81	206	745
	延回数	23	81	116	21	204	1	188	12	623	135	1		1	121	258	904
大野市	検査施設数		1	1		9		35		46	7				3	10	56
	延回数		1	1		9		37		48	7				3	10	58
勝山市	検査施設数	2	4	11	1	24		20		60	4				7	11	73
	延回数	2	4	11	1	24		20		60	4				7	11	73
永平寺町	検査施設数		8	4	4	24		16		56	10				14	24	80
	延回数		8	4	4	24		16		56	10				14	24	80
嶺北消防組合	検査施設数	25	79	144	6	115		114	15	473	64			2	104	170	668
	延回数	25	79	144	6	115		115	15	474	64			2	104	170	669
鯖江・丹生消防組合	検査施設数		1	2	1	4		46	1	55	36				7	43	98
	延回数		1	2	1	4		46	1	55	36				7	43	98
南越消防組合	検査施設数	7	3	10	1	23		87		124	13				17	30	161
	延回数	15	3	24	1	23		87		138	28				40	68	221
敦賀美方消防組合	検査施設数		13	29	5	40		66	1	154	40				27	67	221
	延回数		13	29	5	40		66	1	154	40				27	67	221
若狭消防組合	検査施設数	2	38	18	9	45	3	43	1	157	38				40	78	237
	延回数	2	38	18	9	45	3	44	1	158	38				41	79	239
合計	検査施設数	49	211	308	44	451	4	608	25	1,651	335	1		3	300	639	2,339
	延回数	67	228	349	48	488	4	619	30	1,766	362	1		3	364	730	2,563

注：1 検査施設数の欄は、立入検査を行った施設数を危険物施設の区分ごとに記載。
2 延回数の欄は、立入検査を行った延回数を危険物施設の区分ごとに記載。

第5表 危険物取扱者試験実施状況

種 別	区 分	平成23年度 合 格 率 (%)	平成24年度 合 格 率 (%)	平成25年度 合 格 率 (%)	平成26年度		
					受験者数 (人)	合格者数 (人)	合 格 率 (%)
甲	種	28.5	22.8	27.5	233	82	35.2
乙	第 1 類	71.3	70.9	68.0	361	246	68.1
	第 2 類	71.1	74.3	68.1	291	213	73.2
	第 3 類	66.4	68.6	66.7	314	204	65.0
	第 4 類	38.6	67.1	33.9	2,847	773	27.2
	第 5 類	67.0	67.2	63.0	307	217	70.7
	第 6 類	64.9	35.8	66.1	361	242	67.0
	小 計	49.7	49.5	45.4	4,481	1,895	42.3
丙	種	54.6	53.9	54.9	591	355	60.1
合	計	49.4	48.9	45.4	5,305	2,332	44.0

第6表 危険物取扱者保安講習実施状況

講習種別	区 分	平成23年度 受講者数 (人)	平成24年度 受講者数 (人)	平成25年度 受講者数 (人)	平成26年度	
					受講者数 (人)	講習実施回 数 (回)
給 油 取 扱 所		432	423	414	393	7
石 油 コ ン ビ ナ ー ト		40	37	43	42	1
そ の 他		1,123	1,201	1,243	1,211	9
合	計	1,595	1,661	1,700	1,646	17

- 注：1 「給油取扱所」は、給油取扱所において危険物の取扱作業に従事している危険物取扱者を対象とした講習種別である。
- 2 「石油コンビナート」は、石油コンビナート等災害防止法上の特定事業所における危険物施設において危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者を対象とした講習種別である。
- 3 「その他」は、「給油取扱所」および「石油コンビナート」以外の危険物施設において危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者を対象とした講習種別である。

2. 危険物施設の火災・漏えい事故等

- (1) 過去5年間における危険物の災害事故発生件数は、平成24年が15件と最も多い。
 (2) 過去5年間の危険物施設別の災害事故発生件数は、一般取扱所での事故が16件と最も多い。

第7表 過去5年間の危険物施設における災害事故発生件数

年	危険物施設の別 内訳	製 造 所 (A)	貯蔵所							取扱所					そ の 他 (D)	合 計 (A+B+C+D)	
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計 (B)	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所			一 般 取 扱 所
平成22年	火災	1							0					2	2		3
	漏えい								0	1				2	3		3
	その他								0					0	0		0
平成23年	火災								0					2	2		2
	漏えい							3	3	1				2	3		6
	その他								0					0	0		0
平成24年	火災								0					2	2		2
	漏えい			2		1		3	6	1				3	4		10
	その他								0	3				3	3		3
平成25年	火災								0					1	1		1
	漏えい					2		1	3					0	0		3
	その他							1	1					0	0		1
平成26年	火災								0					1	1		1
	漏えい			2					2					1	1		3
	その他							2	2					0	0		2
火災計		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8	0	9
漏えい計		0	0	4	0	3	0	7	14	3	0	0	0	8	11	0	25
その他計		0	0	0	0	0	0	3	3	3	0	0	0	0	3	0	6
総計		1	0	4	0	3	0	10	17	6	0	0	0	16	22	0	40

注：1 危険物施設の別の「その他」には、危険物運搬中の事故または無許可の危険物施設など、許可を受けている危険物施設以外での事故件数を記載。

第6章 消 防 の 概 要

1 消防の組織〈消防機関と人員〉

昭和23年消防組織法施行後、市町村消防の原則が確立され、昭和48年7月1日大野地区消防組合が発足したことにより、県下全域にわたり消防の常備化が実現した。消防吏員は平成27年4月1日現在で1,206名である。

また、消防団員数は平成27年4月1日現在で5,797名であるが、近年の社会経済情勢の変化の影響を受けて、団員数の減少、サラリーマン団員の増加等の課題に直面しており、消防団の充実強化を一層推進することが必要である。

2 消防施設

(1) 消防機械

消防機械の保有状況は第8表および第9表のとおりであるが、特に近年の救急需要の増加に伴い、各消防本部とも高規格救急自動車の導入を推進している。これにより、高度な救急処置を実施することができ、救命率の向上を図っている。

(2) 消防水利

消防水利は、消防機械とともに、火災鎮火のために重要不可欠なものである。

これについては、消防に必要な水利の確保と管理のため「消防水利の基準」が定められ、その基準に適合したものを消防水利としている。消防水利には、消火栓、防火水槽、プール等の人工水利と河川等の自然水利があり、その保有状況は第11表のとおりである。

3 民間防火組織

(1) 幼年消防クラブ

幼年消防クラブは、幼年期における防火教育の重要性、防火活動を通じての正しい社会的態度の養成の必要性などの観点からはじめられたもので、幼稚園、保育園の指導者を中心に消防機関の協力を得て幼年消防活動を行うことにより、父母兄弟や近隣住民に対する防火思想の普及も効果的に図られている。

(2) 少年消防クラブ

少年消防クラブは、少年のころから火災予防に関する知識を身に付け、学校や各家庭における火災防止を図るとともに、火に関する諸原理を実際に即して勉強し、学校教育としての社会科、理科および家庭科の学習の補助を目的とするものであって、昭和25年に少年消防クラブ取扱要綱が制定され、続いて昭和28年に「全国少年消防クラブ運営指導協議会」（会長：消防庁長官）が設けられ、今日に至っている。

(3) 女性防火クラブ

女性防火クラブは、家庭において火を使用する機会の多い女性を対象に、火災予防の知識を養うことが必要であることから、任意に結成されたものであり、消防職団員の指導のもとに各家庭の防火診断、火災の初期活動等、女性による防火活動は重要な役割を果たしている。

4 表 彰

消防職員または消防団員の士気高揚を図るとともに、地域住民の消防に対する正しい認識と円滑な協力援助関係を確立するため、消防に関して功労のあった消防団員、消防機関その他の団体または個人に対し、各種表彰を行っている。

また、昭和58年より新たに県知事の定例表彰の中で、30年以上勤続の消防団員の配偶者等も表彰することにした。

第1表 消防職団員数の推移(各年4月1日現在)

区分	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46
消防職員数	150	163	203	201	231	227	262	257	268	293	328	351	354	372	381	421	461	521	594
消防団員数	11,835	10,701	8,487	8,275	8,091	7,342	7,174	7,147	7,118	6,744	6,759	6,731	6,751	6,754	6,491	6,388	6,303	6,191	6,019

47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成元	2	3	4
693	743	785	785	832	851	872	895	922	937	950	974	974	982	982	983	999	1,009	1,010	1,032	1,052
5,814	5,703	5,647	5,635	5,633	5,623	5,629	5,616	5,549	5,623	5,616	5,608	5,588	5,549	5,545	5,485	5,471	5,453	5,437	5,488	5,492

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
1,090	1,101	1,119	1,141	1,162	1,169	1,183	1,186	1,190	1,188	1,190	1,193	1,192	1,190	1,189	1,184	1,183	1,180	1,192	1,196	1,189
5,497	5,519	5,502	5,533	5,523	5,518	5,497	5,499	5,483	5,460	5,436	5,439	5,442	5,406	5,411	5,411	5,480	5,560	5,656	5,688	5,661

26	27
1,188	1,206
5,720	5,797

第2表 消防機関の現況

区 分		平成26年4月(A)	平成27年4月(B)	増減(B-A)
消防本部・署	消防本部数	9	9	0
	消防署数	19	19	0
	出張所数	31	30	△1
	消防職員数	1,188	1,206	18
消防団	消防団数	18	18	0
	分団数	237	235	△2
	消防団員数	5,720	5,797	77

第4表 階級別消防職員数

平成27年4月1日現在

区分	消防職員											その他の職員			条例定数	
	消防吏員(実員)											事務職員	技術職員	単純労務職員		小計(C)
	消防司監	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	小計(B)						
	計(A)	うち女性(B)	+	計(C)	73	29	4	1	83	60	41	60	351	18	18	356
福井市	4	2	1	1	9	6	1	1	14	7	7	11	55	1	1	55
大野市	1	1	1	5	4	8	1	1	10	10	10	10	37	0	0	38
勝山市	0	0	1	5	4	12	1	1	12	6	2	10	40	0	0	45
永平寺町	6	1	3	10	36	38	40	39	198	198	198	198	198	4	4	206
嶺北消防組合	4	4	1	7	21	30	19	13	30	19	13	19	110	3	3	113
鯖江・丹生消防組合	4	4	1	11	28	48	13	21	48	13	21	20	142	1	1	145
南越消防組合	3	3	1	15	23	24	23	20	24	23	20	45	151	5	5	156
敦賀美方消防組合	2	2	1	6	18	29	18	14	29	18	14	36	122	1	1	130
若狭消防組合	26	26	14	94	216	286	185	159	286	185	159	250	1,206	33	33	1,244
計	1,239	26	14	94	216	286	185	159	286	185	159	250	1,206	33	33	1,244

注: 下段の()は、女性職員の内数

第5表 階級別非常勤消防団員数

平成27年4月1日現在

階級別 消防(局)本部	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	条例定数
福井市	996 (13)	5 ()	4 ()	52 ()	52 ()	98 ()	98 (1)	687 (12)	1,011
大野市	484 (100)	1 ()	2 ()	10 (1)	12 (2)	36 (3)	72 (6)	351 (88)	485
勝山市	293 (24)	1 ()	2 ()	12 ()	12 ()	25 (1)	34 (2)	207 (21)	299
永平寺町	291 (30)	1 ()	2 ()	13 (1)	11 (1)	()	32 (1)	232 (27)	315
嶺北消防組合	743 (21)	2 ()	8 ()	33 ()	52 ()	()	66 (4)	582 (17)	773
鯖江・丹生消防組合	578 (13)	2 ()	5 ()	37 ()	33 ()	()	84 (1)	417 (12)	627
南越消防組合	774 (22)	3 ()	8 ()	31 (1)	31 (1)	()	81 (3)	620 (17)	841
敦賀美方消防組合	746 (26)	3 ()	4 ()	18 ()	18 ()	51 ()	85 ()	567 (26)	746
若狭消防組合	892 (7)	4 ()	6 ()	29 ()	21 ()	58 ()	100 (1)	674 (6)	894
計	5,797 (256)	22 (0)	41 (0)	235 (3)	242 (4)	268 (4)	652 (19)	4,337 (226)	5,991

注：下段の()は、女性団員の内数

第6表 年齢別消防吏員・消防団員数

平成27年4月1日現在

年齢別 消防(局)本部名	消 防 吏 員										消 防 団 員										平均年齢 (D) (C)			
	(A)のうち										(C)のうち													
	18歳 ～ 19歳	20歳 ～ 24歳	25歳 ～ 29歳	30歳 ～ 34歳	35歳 ～ 39歳	40歳 ～ 44歳	45歳 ～ 49歳	50歳 ～ 54歳	55歳 以上	年齢合計 (B)	平均年齢 (B) (A)	18歳 ～ 19歳	20歳 ～ 24歳	25歳 ～ 29歳	30歳 ～ 34歳	35歳 ～ 39歳	40歳 ～ 44歳	45歳 ～ 49歳	50歳 ～ 54歳	55歳 ～ 59歳		60歳 ～ 64歳	65歳 以上	年齢合計 (D)
福井市	9	28	47	25	37	57	39	49	60	14,449	41.2	1	13	25	77	129	187	165	145	145	85	24	46,531	46.7
大野市	1	6	8	5	5	10	5	8	7	2,169	39.4		7	35	44	88	78	66	60	30	5	21,440	44.3	
勝山市	1	1	7	1	6	13	2	4	2	1,445	39.1			15	33	50	51	32	45	51	15	1	13,155	44.9
永平寺町	2	3	7	1	8	8	2	5	4	1,542	38.6	3	38	16	29	51	67	36	31	11	8	1	11,483	39.5
嶺北消防組合	6	23	34	18	27	42	17	15	16	7,375	37.2	2	4	35	68	131	156	138	103	62	34	10	32,843	44.2
鯖江・丹生消防組合	4	9	16	11	21	23	5	12	9	4,173	37.9		18	45	98	129	170	56	41	13	4	4	22,677	39.2
南越消防組合	5	15	19	6	23	28	12	18	16	5,558	39.1	2	10	30	64	120	155	142	115	77	46	13	34,769	44.9
敦賀美方消防組合	6	25	24	29	31	14	6	3	13	5,121	33.9		29	88	141	193	112	61	42	43	23	14	29,199	39.1
若狭消防組合	7	20	24	10	15	15	8	10	13	4,330	35.5	1	26	104	173	277	174	92	38	6	1		33,105	37.1
計	41	130	186	106	173	210	96	124	140	46,162	38.3	9	145	393	727	1,168	1,150	793	626	468	246	72	245,202	42.3

注:18歳～19歳の欄は18歳未満含む。

第7表 在職年数別消防吏員および消防団員数

平成27年4月1日現在

年数別 消防(局)本部長	消 防 団 員										消 防 吏 員																				
	非 常 勤					団 員					消 防 吏 員					消 防 吏 員															
	合 計	5 年 未 満	5 10 年 未 満	10 15 年 未 満	15 20 年 未 満	20 25 年 未 満	25 30 年 未 満	30 年 以 上	合 計	5 年 未 満	5 10 年 未 満	10 15 年 未 満	15 20 年 未 満	20 25 年 未 満	25 30 年 未 満	30 年 以 上	合 計	5 年 未 満	5 10 年 未 満	10 15 年 未 満	15 20 年 未 満	20 25 年 未 満	25 30 年 未 満	30 年 以 上							
福 井 市	351	64	34	25	30	48	45	105	230	247	143	129	94	79	74	996	230	247	143	129	94	79	74	996	230	247	143	129	94	79	74
大 野 市	55	9	6	6	7	8	4	15	170	84	60	54	52	22	42	484	170	84	60	54	52	22	42	484	170	84	60	54	52	22	42
勝 山 市	37	6	4	4	6	6	5	6	65	57	57	45	33	29	7	293	65	57	57	45	33	29	7	293	65	57	57	45	33	29	7
永 平 寺 町	40	10	2	3	6	8	2	9	139	58	35	29	24	4	2	291	139	58	35	29	24	4	2	291	139	58	35	29	24	4	2
嶺 北 消 防 組 合	198	39	35	16	16	43	18	31	166	167	127	124	72	57	30	743	166	167	127	124	72	57	30	743	166	167	127	124	72	57	30
鯖 江 ・ 丹 生 消 防 組 合	110	16	21	10	20	13	10	20	176	141	125	82	34	15	5	578	176	141	125	82	34	15	5	578	176	141	125	82	34	15	5
南 越 消 防 組 合	142	30	13	7	23	25	15	29	180	153	136	111	110	51	33	774	180	153	136	111	110	51	33	774	180	153	136	111	110	51	33
敦 賀 美 方 消 防 組 合	151	44	25	20	19	23	5	15	284	208	127	44	39	28	16	746	284	208	127	44	39	28	16	746	284	208	127	44	39	28	16
若 狭 消 防 組 合	122	33	17	12	13	15	9	23	311	257	170	88	41	19	6	892	311	257	170	88	41	19	6	892	311	257	170	88	41	19	6
計	1,206	251	157	103	140	189	113	253	1,721	1,372	980	706	499	304	215	5,797	1,721	1,372	980	706	499	304	215	5,797	1,721	1,372	980	706	499	304	215

第8表 消防ポンプ自動車等現有数(消防本部・署)

平成27年4月1日現在

区分	消防本部・署 現有														その他車両						
	普通消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	はしご付消防ポンプ自動車 (ポンプ付でないものを含む)	消防折はしご自動車付	大型高所放水車	泡原液搬送車	化学消防ポンプ自動車	指揮車	照明車	積小型動力ポンプ車 積小型動力ポンプ車 積小型動力ポンプ車	広報車	資機材搬送車	屈折放水塔車	水槽車		支援車	人員搬送車	防災指導車	救急自動車	救助工作車	
消防(局)本部名																					
福井市消防局	21	3	2	1		1	1	4	5		7	6	4	1		1	2		10 (10)	2	5
大野市消防本部	4							1	1			2	2		1				4 (4)	1	
勝山市消防本部	2	1							1			1	1						3 (3)	1	
永平寺町消防本部	1	2							1		2	1	1						3 (3)	1	
嶺北消防組合	6	4							5		7	1	5			1			8 (8)	3	5
鯖江・丹生消防組合	5	1							2			6	1		1				6 (6)	1	
南越消防組合	6	4	1					2	3		1	8	5						8 (7)	3	
敦賀美方消防組合	3	4	1					3	1		3	1	5			1			6 (6)	2	
若狭消防組合	7	3						1	1		6	2	2						6 (6)	1	4
計	55	22	4	2	4	3	1	17	20	0	26	28	26	1	4	4	2	54 (53)	15	14	

注:救急自動車の()書きは高規格救急自動車で内数。

第9表 消防ポンプ自動車等現有数（消防団）

平成27年4月1日現在

種別 消防(局)本部名	消防団現有			
	普通消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ	
			小型動力ポンプ付積載車	車両に積載していないもの
福井市	2		37	42
大野市	10		22	1
勝山市	3		10	
永平寺町	9		12	
嶺北消防組合	36		12	
鯖江・丹生消防組合	31		10	3
南越消防組合	16		25	3
敦賀美方消防組合	23		29	
若狭消防組合	9		37	57
計	139	0	194	106

第10表 化学消火薬剤備蓄状況

平成27年4月1日現在

種別	計		化学消火剤種別																		
	(A)	(B)	たん白系	合成界面 活性剤	水成膜泡 消火薬剤	水溶性液体用泡 消火薬剤 (耐70℃用)	第1種 粉末	第2種 粉末	第3種 粉末	第4種 粉末											
	(kg) (7)~(才)	(kg) (才)~(ヶ)									3%型 (kl) (7)	6%型 (kl) (イ)	(kl) (7)	(kl) (才)	(kg)	(ヶ)	(ヶ)	(ヶ)			
消防(局)本部名																					
福井市	14.62	0.00	10.30	1.65	2.24	0.34															
大野市	1.87	0.00		1.87																	
勝山市	0.92	0.00		0.92																	
永平寺町	0.50	0.00		0.50																	
嶺北消防組合	29.78	0.00	4.94	3.68	17.54	3.62															
鱒江・丹生消防組合	4.28	0.00		1.34	2.94																
南越消防組合	3.52	0.00		0.68	2.84																
敦賀美方消防組合	4.36	0.00	0.87	2.69	0.52	0.28															
若狭消防組合	1.49	0.00		1.49																	
計	61.34	0.00	16.11	14.82	26.08	4.24	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

第12表 消防機関の出動状況

平成26年中

区分	種別	火災		風水害等の災害		演習訓練		広報指導		警防調査		火災原因調査		特別警戒		捜索		予防査察		誤報等		その他		
		(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)	(キ)	(ク)	(ケ)	(コ)	(ク)	(ケ)	(コ)	(ク)	(ケ)	(コ)	(ク)	(ケ)	(コ)	(ク)	(ケ)	(コ)	(ク)
消防本部・署所	出動回数	22,456	248	38	2,327	3,924	6,548	252	960	8	6,894	59	1,198											
	出動延人数	72,356	3,531	136	12,781	12,488	17,144	1,370	3,442	66	17,397	320	3,681											
消防団	出動回数	3,390	150	6	750	197	23	0	502	0	0	9	1,753											
	出動延人数	47,240	3,093	101	21,545	3,096	426	0	6,456	0	0	102	12,421											

第13表 消防吏員・団員の公務による死傷者数

平成26年中

区分	種別	火災		風水害等の災害		救急業務		演習訓練		特別警戒		捜索		その他	
		(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)	(キ)	(ク)	(ケ)	(コ)	(ク)	(ケ)	(コ)	(ク)
消防吏員	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	負傷者	6	3	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消防団	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	負傷者	5	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第14表 火災通報施設等の現況

平成27年4月1日現在

区分	火災報知機			テレビ監視装置	望楼		電話				救急指令装置		
	受信機 (基)	発信機			小計 (ウ)+(エ) (基)	24時間 監視を している もの (ウ) (基)	その他 (エ) (基)	小計 (オ)+(カ)+(キ) (回線) (千円)	消防機関にあるもの		加入電話 (キ) (回線)	救急指令専用	消防指令装置と併用
		小計 (ア)+(イ) (基)	公衆用 (ア) (基)						自衛用 (イ) (基)	火災報知 専用電話 (オ) (回線)			
消防(局)本部名													
福井市	0				0		165	26	99	160	40		1
大野市	0			1	0		39	13	2	5	24		
勝山市	0				0		13	6			7		
永平寺町	0				0		21	12	1	15	8		
嶺北消防組合	0				0		47	14			33		
鯖江・丹生消防組合	0				0		55	13	5	223	37		1
南越消防組合	0				0		47	16	2	6	29		
敦賀美方消防組合	0				0		43	11	9	249	23		
若狭消防組合	0			1	0		29	12	8		9		
計	0	0	0	2	0	0	459	123	126	658	210	0	2

第15表 無線通信施設の現況

平成27年4月1日現在

種別	消防・救急業務用無線												
	固定局			基地局および携帯基地局						航空局	移動局		その他の無線局数
	局数		「局の電波の数の その他」の数	局数		電波の数				局数	陸上移動局数	携帯局数	
	多重	その他		基地局	携帯基地局	全国共通波	県内共通波	その他					
単信波								複信波					
消防(局)本部名													
福井市	2			7		3	1	3	1		211		
大野市				5		1	1		1		50		
勝山市		1	1	4		3	1		2		42		
永平寺町				3		1	1				26		
嶺北消防組合				4		3	1				92		
鯖江・丹生消防組合				8		3	1				151		
南越消防組合		7	1	7		3	1	2			47	45	8
敦賀美方消防組合				8		3	1				94		
若狭消防組合				5		3	1	2			33	45	
計	2	8	2	51	0	23	9	7	4	0	746	90	8

第16表 幼年消防クラブの現況

平成27年4月1日現在

種別	組織別クラブ数					組織別クラブ員数					指導者数					
	計	幼稚園 保育園 単位	学校 単位	市町村 単位	地区 単位	その他	計	幼稚園 保育園 単位	学校 単位	市町村 単位	地区 単位	その他	計	幼稚園 保育園 単位	学校 単位	その他
消防(局)本部名																
福井市	2	2					37	37					2	2		
大野市	18	18					1,007	1,007					17	17		
勝山市	13	13					529	529					167	167		
永平寺町	10	10					672	672					55	55		
嶺北消防組合	50	50					3,803	3,803					50	50		
鯖江・丹生消防組合	41	41					1,320	1,320					100	100		
南越消防組合	42	42					916	916					42	42		
敦賀美方消防組合	35	35					2,853	2,853					35	35		
若狭消防組合	0						0						0			
計	211	211	0	0	0	0	11,137	11,137	0	0	0	0	468	468	0	0

第17表 少年消防クラブの現況

平成27年4月1日現在

種別	組織別クラブ数					組織別クラブ員数					指導者数						
	計	学校単位		市町村単位	地区単位	その他	計	学校単位		市町村単位	地区単位	その他	計	学校単位		その他	
		小学校	中学校					小学校	中学校					小学校	中学校		
消防(局)本部名																	
福井市	50	50				2,322	2,322						61	61			
大野市	15	10	5			355	355	99					14	10	4		
勝山市	17	3		4	10	392	1,213				94	727	51	6		45	
永平寺町	13				13		192					192	30			30	
嶺北消防組合	29	29				976	976						28	28			
鯖江・丹生消防組合	20	20				2,662	2,662						120	120			
南越消防組合	21	21				935	935						21	21			
敦賀美方消防組合	12	12				320	320						12	12			
若狭消防組合	0					0	0						0	0			
計	177	145	5	4	23	9,074	7,962	99	0	94	919	337	258	4	75		

第18表 女性防火クラブの現況および活動状況

平成27年4月1日現在

種別	合計		周囲の状況						活動状況別組織数				
	組織数 (ア)+(イ)+(ウ)+(エ)	人員 (カ)+(キ)+(ク)+(ケ)	市街地		農山村地域		漁村地域		その他 組織数	人員	消火活動を行う (a)	消火活動は行わないが、炊き出し、連絡、救護等を行う (b)	(a)(b)は行わず、予防の啓蒙活動を行っている (c)
			組織数 (ア)	人員 (カ)	組織数 (イ)	人員 (キ)	組織数 (ウ)	人員 (ク)					
消防(局)本部名													
福井市	18	1,490	6	438	10	592	2	460			9		9
大野市	8	213			8	213					7	1	
勝山市	10	290	3	150	7	140				10			
永平寺町	2	40	1	20	1	20							2
嶺北消防組合	2	649	2	649									2
鯖江・丹生消防組合	23	1,509	8	217	12	534	3	758			12		11
南越消防組合	23	253	13	127	10	126					23		
敦賀美方消防組合	75	2,945	25	1,917	40	897	10	131			67	8	
若狭消防組合	18	278			10	197	8	81			18		
計	179	7,667	58	3,518	98	2,719	23	1,430	0	0	146	9	24

第19表 消防表彰受賞状況

種 類		年 度										
		17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	
叙 勲		19	19	21	23	24	23	22	21	22	23	
藍 綬 褒 章				4		1				3	3	
消 防 庁 長 官 表 彰	功 勞 章	2	1	2	2	1	2	1	2	2	2	
	永年勤続功労章	21	21	20	20	20	21	21	21	21	21	
	表 彰 旗											
	竿 頭 綬									1	1	
	消防団 地域 活動	消 防 団	1	1			1	1	1	1	1	1
		事 業 所			1		1	1	1			
	少年 消防 クラブ	表 彰 旗		1				1			1	
		表 彰 楯	2		1	2	1		1	1		1
		指 導 者										
	福 井 県 知 事 表 彰	功 勞 章		38	40	40	40	40	40	40	40	40
永年勤続精績章		137	129	117	154	141	142	155	152	154	177	
銀 杯		30 年 以 上										
		退職10~15年未満	66	59	58	66	75	66	70	67	71	73
感 謝 状		退 職 幹 部	30	14	23	23	24	24	22	22	33	16
		人 命 救 助 そ の 他										
	夫 人 表 彰	20	27	29	26	22	36	33	28	26	33	
竿 頭 綬												
特 別 功 勞 章												

第7章 消防教育訓練

1 消防学校の概要

(1) 沿革

昭和34年7月16日 福井市水越町に福井県消防学校設置。
 昭和47年11月1日 福井市合谷町へ移転。
 平成8年4月1日 福井市大畑町へ再移転、現在に至る。

(2) 施設概要

ア 所在地等 (ア) 所在地 福井市大畑町97-21-3
 (イ) 敷地面積 40,759.02㎡

イ 建物工作物等

建物構造および規模

・ 敷地面積 40,759.02㎡ ・ 建物延面積 8,001.62㎡

名称	規模・構造	延べ面積(㎡)	内容
教育管理棟 宿泊施設(3階)	RC造3階	3,249㎡	1階 校長室 講師控室 職員室 会議室 防災倉庫 2階 普通教室(60人)(40人) 談話室 図書室 視聴覚室 理化学室(各種実習室併設) 等 3階 寮室(20室) トレーニングルーム 娛樂室
体育館	鉄骨造2階建	2,106.25㎡	1階 食堂 学生ホール 和室 倉庫 2階 アリーナ
雨天訓練場	鉄骨平屋建	1,091.22㎡	訓練場(救助、ポンプ操法訓練施設) 訓練資器材庫 訓練車両庫
訓練塔(主)	SRC造 地下1階建 地上8階建	594.84㎡	立坑訓練室 耐煙迷路室 消火設備実験室 垂直救助訓練 水平ロープ渡過 ブリッジ救出訓練施設 放水訓練室 水平救助・担架吊り下げ救出訓練施設 梯子車注水訓練室 積載梯子上救出訓練施設 梯子車進入訓練室 高所活動・人命検索訓練施設 救助袋等避難器具取扱訓練室 地下火災実験室
訓練塔(補助)	鉄骨造 地上7m	A塔 70.44㎡ B塔 32.86㎡	人命救助訓練施設 引上救助訓練施設 中高層建物防御訓練施設 斜め救助訓練施設 障害突破 垂直降下訓練施設
水難訓練用プール (兼、潜水訓練)	FRP製	25m×5コース 水深1.5m～3.0m 容量630m³ 採水口4箇所(ポンプ車用) 機械室・便所(34.43㎡)	
その他施設	油火災消火訓練施設(耐火レンガ造) 直径3m×高さ0.5m 防火訓練壁 幅14m×高さ4m 受水槽20㎡ 煙道訓練施設 間口1.0m×1.0m		
屋外訓練場	7,800㎡ (120m×65m)	1周200mグラウンド	

2 教育訓練

消防職団員の各種教育訓練を第1表および第2表のように実施し、人的消防力の充実に向上を図るとともに、より高度の専門的知識を修得させた。

また、第3表のとおり消防大学校へ職員が派遣された。

第1表 平成26年度 消防本部(局)別 受講者数

区分	教育訓練の種類	項目	実施年月日	教育 実日数	延時間	消防本部(局)							合計			
						福井	敦賀美方	南越	若狹	大野	勝山	勝江丹生		嶺北	永平寺	
消防職員	初任教育(第49期)	初級幹部科	26.4.3~9.26	120	835	11	8	5	8	2	1	3	7	3	48	
		中級幹部科(第29期)	隔年実施のため今年度中止													
	幹部教育	中級幹部科(第9期)	26.12.10~12.18	7	49	4	2	1	1	1	1	2	3	1	16	
		上級幹部科(第35期)	26.6.25~6.27	3	21	4	2	1	2	1	1	2	2	1	16	
	専科教育	警防科	26.11.12~11.26	10	70	4	2	1	2	1	1	2	3	1	17	
		特殊災害科	隔年実施のため今年度中止													
	科教育	予防査察科(第11期)	27.2.12~2.25(予定)	10	70	4	2	1	2	1	1	1	3	1	16	
		危険物科(第32期)	27.1.7~1.16	7	49	4	1	1	2	1	1	2	2	2	14	
		火災調査科	隔年実施のため今年度中止													
		救助科(第38期)	26.10.6~11.7	23	161	4	2	1	2	2	1	2	4	4	18	
特別教育	救急科(第22期)	27.1.28~3.19	36	252	8	6	3	3	1	1	3	5	3	33		
	水難救助科(第19期)	26.7.9~7.25	12	84	5	2	1	2	2	1	2	3	3	16		
	特別講座等	(下記公開講座に記載)														
	操法指導員教育	26.4.17~4.18	2	14	5	4	4	4	4	2	4	4	2	33		
小計	起震車操作員教育(臨時養成)	26.4.23~4.24	2	12	25	8	9	8	4	4	3	9	16	3	85	
	起震車操作員教育(新規養成)	26.6.24	1	6	5	3	3	2	2	1	4	4	4	3	27	
消防団員	初級幹部科	小計		233	1,623	83	42	31	38	20	15	36	56	18	339	
		(第1回)	26.5.18	1	7	8	2	10	4	2	4	5	3	2	40	
	初級幹部科	(第2回)	26.10.19	1	7	3	4	13	4	4	3	8	4	7	46	
		(第1回)	26.6.8	1	7	4	4	9	2	2	4	1	5	5	25	
	中級幹部科	(第2回)(嶺南)	26.11.23	1	7		31								31	
		(第3回)	27.1.25	1	7	1	2			1		4	2		10	
	中級幹部科	消防団員指導員教育(日消)	26.11.29~11.30	2	12	1	3	3	4	1	1	2	2	2	18	
		小計		7	47	17	40	37	12	9	17	16	19	3	170	
	一般その他	自衛消防隊幹部教育(第1回)	26.12.3	1	7	5	25	10	4	11	2	3	4	7	71	
		女性防火クラブ員教育(第1回)	27.3.8	1	6	9	5			4	2		6		26	
自主防災組織職員教育(第1回)		26.10.12	1	3	23			9	30	2	1	7	15	87		
自主防災組織職員教育(第2回)嶺南		26.12.7	1	3				14						14		
自主防災組織職員教育(第3回)		27.2.8	1	3	11		8			2	1	5	16	43		
市町新規採用職員研修	26.10.10、10.24	2	14										180			
小計	小計		7	36	48	25	32	18	45	8	5	22	38	421		
	合計		247	1,706	148	107	100	68	74	40	57	97	59	930		
公開講座	警防科	中級幹部科	26.11.18	1	4	13	6	6	3	1	3	2	4	3	41	
		危険物科	26.12.11	1	4	7	4	4	2		2	4	4	3	26	
	救急科	危険物科	27.1.8	1	4	15	3	5		2	3	4	4	2	38	
		救急科	27.2.24	1	4	9	7	7	4	1	4	7	4	3	46	
小計	合計		4	16	44	20	22	9	4	12	13	16	11	151		
総計	合計		251	1,722	192	127	122	77	78	52	70	113	70	1,081		

第2表 平成26年度消防学校教育訓練実施状況

区分	項目 教育訓練の種類	教育人員	教育実日数	教育時間数	担当講師別時間数				
					学校	県	消防	専門	
消防職員	初任教育(第49期)	48	120	835	531	37	202	65	
	幹部教育	初級幹部科							
		中級幹部科(第29期)	16	7	49	9	6	25	9
		上級幹部科(第9期)	16	3	21	2	2	10	7
	専科教育	警防科(第35期)	17	10	70	26	12	21	11
		特殊災害科							
		予防査察科(第11期)	16	10	70	16	4	46	4
		危険物科(第32期)	14	7	49	16	8	25	
		火災調査科							
		救助科(第38期)	18	23	161	21	8	111	21
		救急科(第22期)	33	36	252	7	7	61	177
	特別教育	救急救命士研修(中止)							
		水難救助科(第19期)	16	12	84	8		76	
		操法指導員教育	33	2	14	2		12	
起震車操作員教育		112	3	18	18				
小計	339	233	1,623	656	84	589	294		
消防団員	初級幹部科	86	2	14	14				
	中級幹部科	66	3	21	9	6		6	
	消防団指導員教育(日消)	18	2	12	8	2		2	
	小計	170	7	47	31	8	0	8	
一般その他	自衛消防隊幹部教育	71	1	7	4			3	
	少年消防クラブ員教育(中止)								
	女性防火クラブ員教育	26	1	6	3			3	
	自主防災組織員教育	144	3	9				9	
	市町新規採用職員研修	180	2	14		14			
	小計	421	7	36	7	14	0	37	
合計		930	247	1,706	694	106	589	339	
公開講座	警防科	41	1	4				4	
	中級幹部科	26	1	4				4	
	危険物科	38	1	4				4	
	救急科	46	1	4				4	
	公開講座合計	151	4	16	0	0	0	16	
総合計		1,081	251	1,722	694	106	589	355	

第3表 平成26年度消防大学校派遣者数

学 科	派遣者数	備 考
幹部科 (第39期) (第40期)	3	消防学校、鯖江・丹生
警 防 科 (第95期)	1	嶺北
救 助 科 (第69期) (第70期)	1	嶺北
	1	鯖江・丹生
予 防 科 (第97期)	1	福井市
火 災 調 査 科 (第27期) (第28期)	2	嶺北、若狭
	1	消防学校
新 任 教 官 科 (第8期)	1	敦賀美方
高度・特別高度救助コース (第4回)	1	防災航空事務所
航空隊長コース (第14回)	1	永平寺町
トップマネジメントコース (第16回)	1	嶺北、消防学校、福井市
危機管理・国民保護コース (第4回)	3	嶺北、消防学校
自主防災組織育成コース (第10回)	2	敦賀美方
違反是正特別講習 (第1回)	1	
合 計	19	